

# 医療介護や福祉 行政と連携重要

## 3団体と知事が 松山で意見交換

医療や介護など暮らしに関わる困りごとの解決に取り組むソーシャルワーカーの団体と中村時広知事との意見交換会が5日夜、松山市畑寺4丁目の市畑寺福祉センターであり、地域で活動する専門職の役割について話し合った。



ソーシャルワーカーの団体と中村時広知事との意見交換会。5日夜、松山市畑寺4丁目

て話し合った。

県医療ソーシャルワーカー協会、県社会福祉士会、県精神保健福祉士会の3団体約110人が参加。各団体が精神障害者に対する社会参加支援や、病気を抱える患者や家族の援助など幅広い活動状況を説明した。

公立病院などでのソーシャルワーカーの県職員採用拡大を求められた中村知事は、人員の適正化や予算の問題などを挙げながらも「ニーズは十分にあると思う」と述べた。県医療ソーシャルワーカー協会の山本隆司会長は、社会で必要性がより認識されるよう「専門性を高め情報発信したい」とした。

中村知事は講演で、少子高齢化により社会保障制度を維持するのが困難になると指摘。地域で活動するボランティアやソーシャルワーカーなどと行政の連携が重要になると訴えた。(松本尚也)